

黄金姫



王様



昔、ある所に、

黄金が大好きな王様がいました。

可愛い王女もいて、

何一つ不足なことは

ありませんでした。

王女が蒲公英を

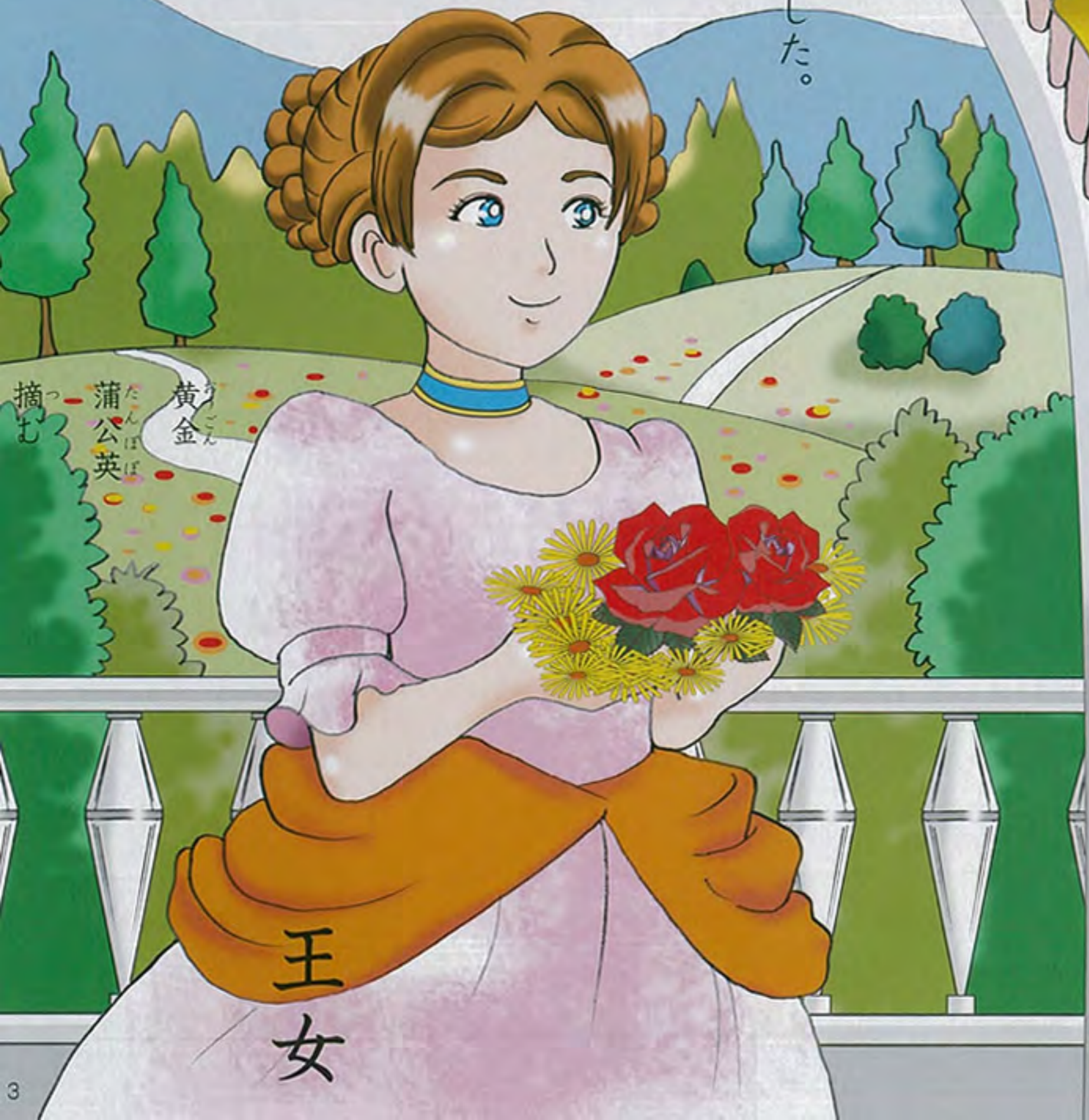
摘んでくると、

王様は、

「この花が、

黄金ならばなあ…。」

と言いました。



王女

黄金

蒲公英

摘む

ある日、王様が

宝物を数えていると、

男の人が声をかけて来ました。

「素晴らしい宝物ですね。」

「いや、まだ充分ではないのだ。」

「まだ満足ではないと

言うのですか。」

「その通りだ。」

「どうすれば

満足なされるのですか。」

「私の手に触ったものが、

すべて黄金になったら

満足する。」



男の人

宝物

